



2018年12月14日

各位

会社名 株式会社オプティマスグループ
 代表者名 代表取締役社長 山中 信哉
 (コード: 9268 東証第二部)
 問合せ先 総務部長 嘉悦 清隆
 (TEL. 03-3456-1764)

2019年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年12月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、本年8月17日に公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想を修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 29,169	百万円 1,588	百万円 1,610	百万円 1,503	円 銭 281.90
今回修正予想(B)	26,569	1,493	1,558	1,414	264.76
増減額(B-A)	▲2,600	▲95	▲52	▲89	—
増減率(%)	▲8.9%	▲6.0%	▲3.2%	▲5.9%	—
(参考)前期実績(2018年3月期)	26,132	1,210	1,330	909	178.58

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間におきましては、前事業年度に比して、為替が円高に推移し、また、夏場の西日本の台風等の影響により、中古自動車のオークション会場での成約単価が上昇いたしました。これらを背景として、ニュージーランド現地ディーラーの購買姿勢が慎重となり、販売台数が当初予想した数を下回って推移いたしました。

第3四半期において、為替は想定よりも円安に推移し、またオークション会場での中古自動車の成約単価が前年並みに落ち着いてきておりますが、検査強化対応コスト増や輸送コスト上昇のため、現地で販売活動が回復する下半期に入りましてもニュージーランド現地ディーラーの購買意欲は当初想定水準には及ばず、販売台数の減少による売上減少が見込まれます。また、損益につきましては、検査事業において9月より熱処理施設の本格稼働が開始しておりますが、上記のとおりニュージーランドにおける中古車輸入台数の減少に伴い、物流事業における輸送台数や検査事業における国内検査台数の減少が見込まれることに加え、ニュージーランドにおける人員コストの増加が嵩んだこと等から、全体の利益水準も想定を下回ることが見込まれます。

このように、ニュージーランドの中古車輸入状況についても一定の回復が見込まれるものの、当社グループを取り巻く環境は想定より不透明な状況にあり、全社的な経費削減等により業績改善に取り組んでいくも

のの、減収をリカバリーすることが難しいと予想されることから、2019年3月期の通期連結業績予想値を修正するものであります。

以 上